

令和6年度の重点課題

情意面

○男子

- ・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きではない児童は前年度に続いて見られないが、「好き」と答えた児童が約20%減少した。
- ・学校独自の意識調査において、低学年では運動領域ごとの運動をすることに否定的回答をする児童の割合は低く、10%以上となる種目は6領域中1領域で数値自体も低いが、高学年では4領域で否定的回答をする割合が高かった。

○女子

- ・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きではない児童は令和5年度と比べて約6%減り、いなくなったが、「好き」と答えた児童が約7%減少した。
- ・学校独自の意識調査において、低学年で運動領域ごとの運動をすることに否定的回答をする児童の割合は低学年、高学年ともに男子より女子が高く、高学年ではどの領域でも10%を上回り、最大で約38%の児童が運動をすることに否定的回答をした領域があった。

体力面

- ・令和5年度と比べ、男子は4種目、女子は3種目で県平均記録や全国平均記録を下回る種目数が増えた。特に、20mシャトルランでは男子は6.44回、女子は8.06回県平均記録を下回っており、全身持久力に課題があった。

上記の課題を受けて具体的に 取り組んだ事項

体育の授業で行う取組内容

- アクティブチャイルドプログラムの中から「ころころ」、「落とさず捕まえる!」、「追って、追われて!」等の運動を取り入れ、楽しく運動したり、全身を動かす運動をしたりすることで運動に対する意欲向上につなげた。
- 運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導について事前に学年間で計画する。声かけなどの手立てを計画・実践することで、意欲向上につなげた。
- 学年に合わせて、各単元の指導が始まる前に伸ばしたい力の共有や確認を行い、その力にあった運動を行った。

体育の授業以外で行う取組内容

- 前年度に引き続き、本校が週に1回行っている「ロング昼休憩」で普段の休憩で外遊びをあまりしない児童へ外で友達と体を動かして遊んでみるよう声をかけたり、クラス全員で遊ぶような内容を計画したりすることで、児童が体を動かすことは楽しいことだと感じられるようにした。
- 児童の全身持久力向上につなげるために、マラソン朝会やマラソン大会を計画、実施した。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.90	15.10	30.52	42.04	37.42	9.07	153.52	28.60	52.78	第5学年	14.19	16.50	35.38	42.40	35.20	9.28	154.15	14.75	54.85

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和6年度）との比較

県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和6年度）が公開された後、公開します。

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	77.27	13.64	9.09	0.00	第5学年	61.90	19.05	14.29	4.76

学校独自の意識調査

単位（%）	走ること		跳ぶこと		投げること		力を出すこと		体を柔らかく曲げること		素早く動くこと	
	肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的
低学年	93.1	6.9	79.3	20.7	96.5	3.5	82.7	17.3	81	19	93.1	6.9
(1～3年)	90.9	9.1	96.9	3.1	78.7	21.3	78.7	21.3	90.9	9.1	84.8	15.2
全体	91.9	8.1	88.7	11.3	87	13	80.6	19.4	86.2	13.8	88.7	11.3
高学年	82.5	17.5	90.4	9.6	88.9	11.1	85.7	14.3	71.4	28.6	85.7	14.3
(4～6年)	73.5	26.5	83.8	16.2	64.7	35.3	67.6	32.4	72	28	77.9	22.1
全体	77.8	22.2	87	13	76.3	23.7	76.3	23.7	71.7	28.3	81.6	18.4

重点課題

情意面での課題

○男子

- ・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きではない児童が約9%増加した。
- ・学校独自の意識調査において、各運動をすることにに対する否定的な回答が前年度より増加した。

○女子

- ・男子同様、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きではない児童が増加しているが、男子の約9%より約10%多い約19%となった。
- ・学校独自の意識調査において、各運動をすることにに対する否定的な回答は前年度より減少しているが、依然としてその割合は高い。

体力面での課題

- ・新体力テストの結果では、県平均値・全国平均値を上回る種目が、昨年度は男子の1種目のみだったことにに対し、今年度は男子・女子ともに4種目あった。しかし、昨年度の5年生の記録値と比べると、昨年度より数値が下回る種目が男子は4種目、女子は1種目あった。

令和8年度の 重点目標値

- 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の質問に対する肯定的な回答をする児童の割合が男女ともに5%向上する。
- 体力テスト8種目中、男女ともに4種目が県平均記録・全国平均記録を上回る。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 前年度に引き続き、アクティブチャイルドプログラムの運動を取り入れて楽しく運動することで、児童の運動に対する意欲向上につなげる。
- 運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導について、事前に学年間で計画する。声かけなどの手立てを計画・実践することで、意欲向上につなげる。
- 学年に合わせて、各単元の指導が始まる前に単元で伸ばしたい力を確認し、その力に合った運動をアクティブチャイルドプログラム等から取り入れて行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- 前年度に引き続き、本校が週に1度行っている「ロング昼休憩」で普段の休憩で外遊びをあまりしない児童が友達と外で体を動かす機会を設定したり、クラス全員や学校全体で遊ぶような内容を計画したりすることで、児童が体を動かすことは楽しいことだと感じられるようにする。
- 毎朝の健康観察時等で「グーパー運動」等行うことで、児童の握力が向上する一助となるようにする。